

経営比較分析表（令和6年度決算）

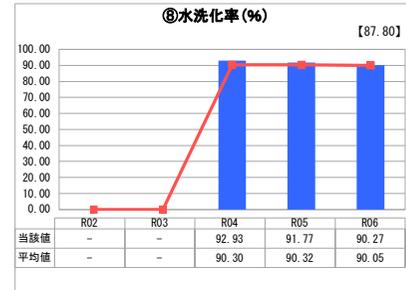
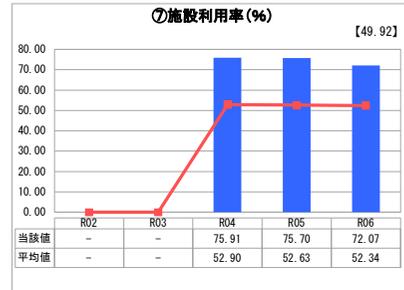
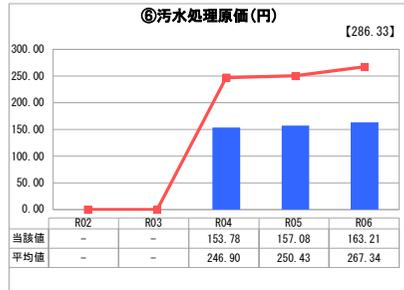
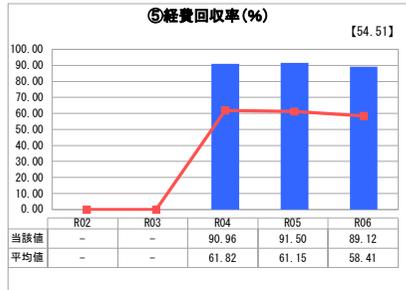
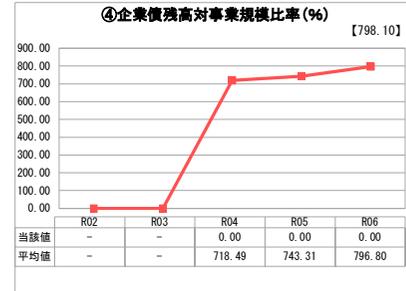
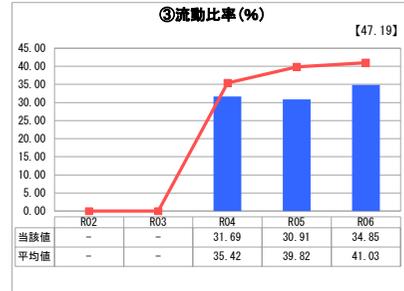
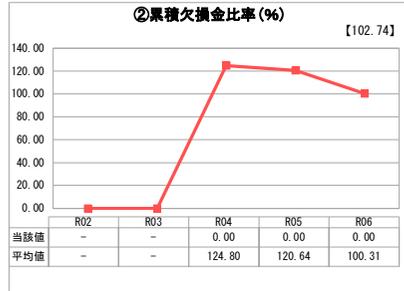
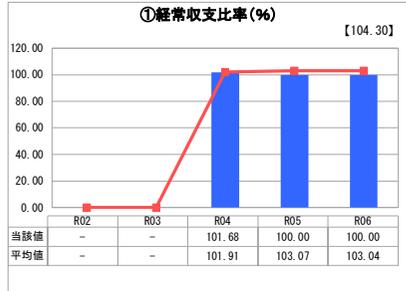
和歌山県 美浜町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	78.99	48.02	101.96	2,863

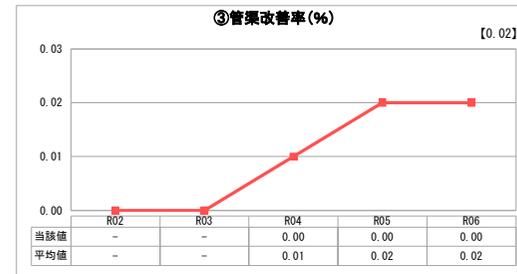
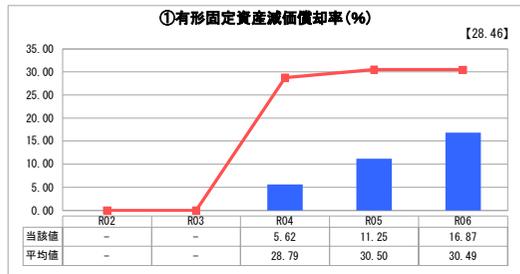
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
6,324	12.77	495.22
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
3,000	1.02	2,941.18

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
□ 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町の農業集落排水事業は、平成12年度をもって管渠の整備が完了した。
 ①経常収支比率は、100%であり、⑤経費回収率も100%近くを推移している。
 ③流動比率は、事業完了が平成12年度で20年以上経過しており、一般会計からの繰入により比較的低い水準となっている。④企業債残高対事業規模比率は、企業債を全額一般会計からの繰入で賄っているため、0である。
 ⑥汚水処理原価は、平均を下回り安価であるが、計画的な機械設備の更新や修繕等を行い、より一層経営努力していく。
 ⑦施設利用率は毎年微動でほぼ横ばいである。⑧水洗化率は、管渠の整備が完了して20年以上経過しているため、前年度とほぼ横ばいとなっている。総じて改善しなければならない部分は経営努力にてカバーしていきたい。

2. 老朽化の状況について

- 和田処理場は平成3年に供用開始以来、硫化水素による機能の低下で、平成25年度に機能強化対策として当施設の改築更新工事の設計、平成26・27年度に工事及び工事監理を実施し、平成28年度に機能調整工事を実施した。
- 入山・上田井処理場は平成9年に供用開始以来、約26年が経過し、施設内及び各中継ポンプ設備の故障等が発生する場合もあるが、日頃の施設管理の中で保守管理に重点を置き、また、各設備の耐用年数等を考慮し、オーバーホールや更新に対応する。

全体総括

- 現在は施設等の維持管理が主流となっている。
- 今後は業務の効率化に努め経営努力し経費回収率を更に改善していきたい。
- また、一般会計繰入金と使用料金をバランス良く財源とし、企業債残高を減らしていく。
- これらの取り組みを通じ経営基盤を維持し、管路や施設の更新に備えたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。